



特集

「読書の秋」 本を読みたくなる気持ちにスイッチ・オン

毎年10月27日から11月9日までの2週間を読書週間として、全国的に読書の啓発や読書に関する催しが行われます。

最近忙しくて読んでいない、活字は苦手、という人もこの機会に本を手にとってみてはいかがでしょうか。

今月は読書週間に関連し、「松浦市読書活動推進計画～本を読みたくなる気持ちにスイッチ・オン～」を特集します。

「教育のまち」を
目指して

現在、インターネットの普及をはじめ、さまざまなメディアが発達し、私たちの生活を取り巻く環境が目まぐるしく変化しています。

大人だけではなく子どもたちもパソコンやスマートフォンの使用時間が増えたことで「本を読む」機会が減ってきています。

松浦市教育委員会は、7月号に特集した「教育のまち 松浦」の実現に向けた教育方針の一環として、市民の読書活動を推進することを目的に、昨年度「松浦市読書活動推進計画」を策定しました。

子どもの読書活動への取り組み

松浦市では、特に子ども読書の読書活動推進の取り組みに力を注いでいます。各学校での取り組みとして、ボランティア団体

による読み聞かせ、図書支援員が季節に応じてレイアウトや掲示物を変えたり、秋の読書週間に合わせて読書スタンプラリーを行うなど、子どもたちが本に対して興味や関心を持つように様々な工夫がされています。

このような取り組みや子どもたちの読書活動が高く評価され、文部科学省から「子どもの読書推進活動優秀実践校」として、令和元年度は鷹島小学校、令和2年度は福島養源小学校が選ばれ、大臣表彰を受賞しました。市内には年間200冊を読んでいる児童もおり読書活動が定着してきています。



▲今年受賞した福島養源小の児童



取り組みの全体図



- 基本方針① 年代別に応じた読書活動の推進と環境づくり
 基本方針② 図書館機能の充実と環境の整備
 基本方針③ 市民との協働による読書活動の推進

基本理念

『読書活動を通じて生きる力を身につけ、心豊かな人生を実現する』

目標

- ①あらゆる世代の市民が様々な方法で自由に読書を親しめる環境をつくる
 ②全ての市民が読書習慣を身につけ、生涯にわたって豊かに学ぶ力を養う
 ③地域ぐるみで取り組む読書活動を通じて、人と人との交流や世代を超えたつながりを深める

発達段階	家庭	地域	市・市立図書館	学校 認定こども園・保育所等	民間団体
高校生期	家読（家庭読書）の推進 <small>うちどく</small>	市立図書館・公民館図書室の有効利用	市民全体で行う図書イベント等の実施、学校との連携	年代別に応じた読書活動の支援 図書資料・※レファレンスサービスの充実 イベント等の実施、障害のある人に対する環境の整備 移動図書館事業の充実、学校図書館・ボランティア・読書関係機関との連携・支援	年代別に応じた読書活動の支援 市立図書館・学校図書館との連携
中学生期					
小学生期					
乳幼児期					
	ブックスタート (0歳児健診などの機会に絵本を開く楽しい「体験」と「絵本」をセットでプレゼントする活動)				

※レファレンスサービス…図書館利用者が学習・調査・研究を目的として必要な情報・資料を求めた際に、図書館職員が必要な情報や資料を検索・提供・回答することによって助ける業務。